

雇用・賃上げ

増税反対

国民の願いと政治のねじれ、を

社会保障充実

憲法守れ

原発ゼロ

2013年7月21日

投票の参議院選挙で、

自・公が過半数を獲得した一方で、

自公政権に明確な対案を示した共産党が議席を増やし、国民を裏切った民主が惨敗し、「第三局」と持ち上げられた維新などは低迷しました。

マスコミは、「衆参のねじれ解消」と報道していますが、政治と国民の願いとのねじれ、は拡大しています。憲法、原発、反貧困、TPP、消費税増税など、どの課題をとっても自公政権がすすめる方向は、国民の願いと正反対です。

国民の願いと政治とのねじれ、を変える決め手は「憲法を実行する」政治に転換することです。

「憲法を実行せよ！」の運動をあらゆる

分野ですすめましょう。

「憲法を実行せよ！」の 声と運動で変えよう



最低賃金審議会委員の偏向任命に抗議する宣伝（5月13日大阪労働局前）



豊中市職労の憲法学習会（6月12日）



やお市民集会（6月23日）

賃金・雇用の改善を求める
5・28労働者総決起集会東京



すきやねん
街も仕事も
おしゃべりも



初めての「自治はた」
実行委員を体験して元気に！

府職労
安達 明子さん



松原市職労
吉田 久恵さん



羽曳野市職労
森本みゆきさん



最初は「場違い？」だったけれど



「非常勤職員の使い捨て、許さない！」
吹田関連労組が交流会でアピール

6月8日・9日、「第33回自治体にはたらく女性の全国交流集会in近畿」(自治はた)がドーンセンターで開催。のべ778人が参加し、楽しく学び交流しました。大阪での開催は27年ぶりで、実行委員のほとんどが初めての経験。若い人の参加を増やそうと若い女性組合員に実行委員を引き受けてもらい、「しゃべり場」を企画・運営しました。その結果、20代・40代の参加者が半数を占めました。羽曳野市職労の森本みゆきさんは、「最初は、実行委員会でも年

「本音」で語る実行委員に！

上の人が多く、黙って聞くばかりでしたが、集会を教えてもらいました。松原市職労の吉田久恵さんは、「速報係でしたが、原稿の字数を合わすのが難しかった。『しゃべり場』では、参加者全員が発言できて『組合があつてよかった』など本音が出し合えました」。大阪府職労の安達明子さんは、「私は図書館司書ですが、保育士や保健師など職種の違う世界を知ることができてよかった」と語ります。3人とも一番うれしかったことは、「参加してよかったよ」と言ってもらえたこと」と口をそそげます。この3人は、「自治はた実行委員の体験を活かし、単組の役員として引き続きがんばっています。参加者みんなが成長した『自治はた』を力に、婦人部も元氣満々です。『自治はた』を支えてくれたみなさん、ありがとうございました。

そして単組で「けん引車」に成長



参加者を歓迎する集会の
マスコット「コナモン」